

編集後記

本年も、会員、執筆者の皆様のご協力により、『別府史談』二十八号を予定通り発刊できました。

論説は七編で、三つのモチーフからの、炭焼き小五郎の伝承の解説は、大変興味のある内容です。また、地熱発電についての考察は、豊富な温泉資源を持つ別府市民の関心事ですし、ケーブルカーの愛称で親しまれた、ラクテンチと別府金山の歴史も、市民にとって興味深い内容です。そして、今後共、石垣原合戦を風化させないためにも、宗像掃部鎮統等関係人物の研究は必要だと思います。大分県の神楽の系統については、『御嶽神楽』（豊後大野市文化財調査報告書）に筆者が加筆したのですが、別府市の神楽の研究にも貴重な資料です。さらに、今日新聞の小野弘氏には、「昭和九年の昔はよかつたなあ」を、平野雅美氏には「西郷隆盛小論」を寄稿していただきました。興味深い内容の文章、有難うございました。講演会講師論稿では、記念講演「大分の方言について」は、講師の別府大学松田美香教授に内容をまとめていただきました。春季講演会では三人の方が発表され、その内容を掲載しています。市内・外の史跡探訪の資料及び感想文は、都合により参加できなかった方は、是非参考にしてください。なお、昨年四月、本会の前会長後藤重巳先生が逝去されました。友永植新会長よりの「追悼文」を掲載しています。ご冥福をお祈りいたします。合掌

（会誌担当）

別府史談

第二十八号

（非売品）

発行人 別府史談会

会長 友永 植

☎〇九七七―七二一〇四四八

編集 別府史談会事務局（会誌担当）

発行年月 平成二十七年三月

印刷所 別府市亀川東町四番二〇号

株式会社クリエィツ

☎〇九七七―六六一三六七六